

内閣総理大臣 菅義偉 様
経済産業大臣 梶山弘志 様

2021年4月12日

トリチウム汚染水の海洋放出は言語道断です

福島第一原子力発電所事故で発生したトリチウム等の
放射性物質汚染水の海洋放出は許されません

医療九条の会・北海道 幹事会

政府は、今月13日に関係閣僚会議を開き「トリチウム汚染水(ALPS 処理水)を海洋放出」での処分を正式に決定する方針と報じられています。

本会幹事会は、以下の理由により、この政府方針の撤回を強く求めます。

1. 【医学的に無謀な方針です】「汚染水」に含まれる主要放射性物質であるトリチウムの健康影響を強く懸念する医学的知見があることを無視して海洋放出するという取り返しのつかない「処分」をすることは予防原則に反しています。現状のタンク備蓄を粛々と継続しつつ、環境に悪影響を及ぼさない処理手段を追求すべきです。
2. 【復興の努力を台無しにします】原発事故と震災による壊滅的な被害を乗り越えて漁業再生を目指してこられた人々に再び大きな困難をもたらします。汚染水を海に流した場合のあれこれの放射性物質汚染の数字が政府から発表されるでしょうが、数十年にわたって、原発と放射線被ばくの安全性について政府と電力会社が真実から大きく離れる情報宣伝を行ってきた歴史を体験してきた国民の多くは、海洋放出の安全性、漁獲物の安全性について大きな懸念を抱くのは必至です。トリチウム汚染水の海洋放出が当該地域の漁業に極めて大きな悪影響をもたらすことは明白です。

以上

【連絡先】札幌市北区北14西3 1-12北海道民医連会館
医療九条の会・北海道 Tel: (011)758-4585
ホームページ: <http://iryo-9jyo.net/>